

【今週の注目疾患】

インフルエンザ

2017年2週の県全体の定点当たり報告数は、1週の12.34から増加し20.04となった。前週から1.6倍の増加となっており、今後も流行状況に注意が必要である。

保健所別の定点当たり報告数は、16保健所中15保健所管内で増加し、海匝(28.00)、松戸(27.88)、香取(26.67)、市原(26.36)、君津(23.15)、印旛(22.88)、船橋市(20.71)が多い。

2017年2週の年齢群別報告割合は、5～9歳18.0%、0～4歳16.8%、10～14歳14.0%が多く、2016/17シーズン全体では、5～9歳17.2%、10～14歳16.4%、0～4歳13.6%が多かった。

2017年2週の小児科・インフルエンザ定点医療機関の協力による迅速診断結果の報告は、4,129例中A型4,016例(97.3%)、B型91例(2.2%)、A and B型4例(0.1%)、A or B型18例(0.4%)であった。2016/17シーズン合計では、13,722例中A型13,404例(97.7%)、B型236例(1.7%)、A and B型9例(0.1%)、A or B型73例(0.5%)となった。

平成28年度 今冬のインフルエンザ総合対策について(厚生労働省)
 URL: <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

千葉県の流行シーズン別インフルエンザ定点当たり報告数

